

表27-1 仁徳の年次表の解説

2009/07/11 by marishi

記載値			加算年	復元値		記事
西暦	年次	月日	(年代差)	年次	年代	
312	空位2		93	仁徳元年	405	仁徳即位[1+3=4、8-3=5→405] 磐の媛命を皇后とす
313	仁徳1	1月3日	92			
314	2	3月8日	91			
315	3		91	2	406	[6-2=4、3+2+1=6→406] 3年間課税を止める
316	4	2月6日	90			
317	5	3月21日	89			
318	6		89	3	407	[4、1+9=10(0)、8+9=17(十七)→407]
319	7	4月1日	88			
320	8	8月9日 9月	87			
321	9		87	4	408	[4*10*10=400、8(1+7)→408] 新羅が朝貢
322	10	10月	86			
323	11	4月17日 10月	85			
324	12	7月3日	85	5	409	高麗が朝貢 [7-3=4、10*10=100(百)、8→408(1年ズレ)] [9+10=19(十九)→逆数90→409]
325	13	8月10日 10月 9月	84			
326	14	10月 11月	83			
327	15		83	6	410	[2(11)+7+1=10→410] 新羅が朝貢せず
328	16	7月1日	82			
329	17	9月	81			
330	18		81	7	411	
331	19		80			
332	20		79			
333	21		79	8	412	
334	22	1月	78			
335	23		77			
336	24		77	9	413	東晋安帝の時(413)、倭王讃。使いを遣わし朝献す。
337	25		76			
338	26		75			
339	27		75	10	414	
340	28		74			
341	29		73			
342	30	9月11日	73	11	415	[11が4個→11年次] [月数9+10+11+11+1=9+11*3=9+2*3=15→415] [11+11=4、7+8=15→415] 履中立太子15歳[15→15歳][51逆数15→415]
343	31	10月1日	72			
344	32	11月7日 11月8日 1月15日	71			
345	33		71	12	416	皇后が死去[末尾6→416]
346	34		70			
347	35	6月	69			
348	36		69	13	417	[2(11)+12=14(1年+方向ズレ)] 八田皇女を皇后とする[1+6+7=14(1年+方向ズレ)] 末尾7→417
349	37	11月12日	68			
350	38	1月6日 7月	67			
351	39		67	14	418	[2+3+下記9+1=15(1年+方向ズレ)→43年次]
352	40	2月	66			
353	41	3月	65			
354	42		65	15	419	[2+3+上記9+1=15] [9、1→逆数19→419]
355	43	9月1日	64			
356	44		63			
357	45		63	16	420	
358	46		62			
359	47		61			

表27-1 仁徳の年次表の解説(つづき)

記載値			加算年	復元値		記事
西暦	年次	月日	(年代差)	年次	年代	
360	48		61	17	421	宋の武帝永初2年(421)、詔して、倭讚、萬里貢を修む。遠誠よろし。 [上記9+1+3+5=18(1年+方向ズレ)]
361	49		60			
362	50	3月5日	59	(18)	(422)	
363	51		59	18	422	新羅が朝貢せず
364	52		58			
365	53	5月	57			
366	54		57	19	423	
367	55		56			[上記5+5+10=20] [5+10+下記10=25→425(1年+方向ズレ)] 呉国と高麗国が朝貢
368	56		55			
369	57		55	20	424	
370	58	5月 10月	54	(21)	(425)	
371	59		53			[上記10+10+5=25→425] 宋の文帝元嘉2年(425)讚また司馬曹達を遣わし、表を奉り方物を献ず。
372	60	10月	53	21	425	
373	61		52			
374	62	5月	51			
375	63		51	22	426	[10+5+18+1+16+10+7=67] [67+20=87] (67年次と87年次は、同年を意味→20年分延長)
376	64		50			
377	65		49			
378	66		49	23	427	
379	67	10月5日 (10月)18日 20余年	48			陵地を定める[5+18=23] 陵を築く(10月は記載なし) 「天下大きに平らなり。20余年ありて事なし。」
~						
399	87	1月16日 10月7日	28	23	427	仁徳崩御、在位23年[16+7=23] 陵に葬る
400	履中1	2月1日 4月17日 7月4日	27	23	427	履中即位 (仁徳66年、67年=87年、履中元年の3年間は、3倍暦の実1年に相当し、同年である)

参考1) 4倍暦と仮定した場合の復元年代

出来事	記載値		4倍暦復元値		備考
	西暦	神武暦	即位年基準	太歳基準	
応神崩御年	310	970	403.5	405.25	403年
空位1年目	311	971	403.75	405.5	403年→404年と読替え
空位2年目	312	972	404	405.75	404年→仁徳に組込み、405年と読み替える
仁徳即位年	313	973	404.25	406	405年
仁徳崩御年	399	1059	425.75	427.5	427年
履中元年	400	1060	426	427.75	427年
履中2年	401	1061	426.25	428	428年

注1) 4倍暦復元値は即位年を西暦162年とする

注2) 太歳基準は即位年基準に、7年(1.75年)を加算する